

結核集団感染の発生について

1 概要

松江刑務所において、受刑者が結核に集団感染する事例が発生しました。

平成26年7月23日に松江市内の病院から結核患者（以下、「初発患者」という。）の届出を受けてから、松江刑務所及び松江保健所が初発患者の接触者について調査及び健康診断を実施していましたが、これまでに新たに4名の患者と5名の感染者が確認されました。

この結果、本件については、厚生労働省が定義する「結核集団感染」（参考1参照）に該当することとなりました。なお、現在、患者・感染者は、適切な治療を受けています。

※「患者」

結核菌により、肺等に病巣ができています。（病状が進み、結核菌を排出（排菌）するようになると、他者へ感染させるおそれが生じます。）

※「感染者」

結核菌に感染しているが発病に至っていない者で、発病を防ぐための投薬治療が必要な者。（結核菌を排出（排菌）していないため、他者へ感染させるおそれはありません。）

2 初発患者の概要

- ・40歳代(男性)
- ・平成26年7月23日松江市内の病院から結核患者の届出

3 調査・健康診断の状況

松江保健所は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下、感染症法とする。）に基づき調査を行い、初発患者と接触のあった者を対象に接触者健康診断（参考2参照）を実施しています。

【健康診断実施状況（初発患者を除く）】

平成26年10月21日現在

区分	対象者 (A+B)	受診者 (A)	健康診断結果				健康診断 予定者 (B)
			患者	感染者	異常なし	検査中	
受刑者	57	57	4	5	38	10	0
職員	12	3	0	0	1	2	9
合計	69	60	4	5	39	12	9

※患者の4名は結核菌を排出していないため、人へ感染させるおそれはありません。

県民の皆様へ

1 長引く咳（せき）・痰（たん）は要注意（早期受診・早期治療）

肺結核の初期症状は風邪に似ています。咳や痰が長引く（約2週間）ときは結核も疑って早めに医療機関を受診しましょう。

島根県では新登録結核患者の7割以上が70歳以上の高齢者ですが、若い世代では、集団感染の危険も高くなるので、年代にかかわらず注意が必要です。

2 定期健康診断の受診（早期発見）

市町村が行っている結核の住民検診（原則65歳以上が対象）や職場等での健康診断（レントゲン検査）を受診し、健康管理に心がけましょう。

3 BCGの早期接種（乳幼児の結核予防）

乳幼児が結核に感染すると、重症の結核になりやすいので、生後1歳までにBCG接種を受けさせましょう（標準的な接種期間は生後5～8ヶ月です）。接種方法等の詳細はお住まいの市町村予防接種担当課へお問い合わせください。

プライバシーを尊重した対応をお願いします

○参考1 「結核集団感染」

同一の感染源（初発患者）が、2家族以上にまたがり、20人以上に結核を感染させた場合をいう。ただし、発病者（患者）1人は6人が感染したものとして感染者数を計算する。

※今回の場合、初発患者を除く患者は4名、感染者が5名であるので、次の計算となる。

→ 患者 4名×6 + 感染者 5名×1 = 感染者 29名

○参考2 「接触者健康診断」

感染症法第17条に定める健康診断の一つで、感染性の結核の患者に接触するなどして結核にかかっていると疑うに足りる正当な理由のある者を対象に行う。

健康診断は、IGRA検査（※）、ツベルクリン反応検査、胸部エックス線検査、喀痰（かたん）検査等により行う。

※IGRA検査

血液により結核菌感染の有無を調べる検査方法。ツベルクリン反応検査と同様、感染直後は陽性反応を検出することができないが、感染から2～3ヶ月後であれば、ツベルクリン反応検査より正確に結核菌感染の有無を判定できる。

※結核に関する詳しい情報は、次のホームページをご覧ください。

○島根県ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/life/yakuji/kansensyo/kansen/stoptb/>

○公益財団法人結核予防会結核研究所 <http://www.jata.or.jp/>

(別紙)

○参考3 全国の結核患者発生状況及び集団感染事例

(1) 発生状況 (平成25年)

	新登録患者数	罹患率	登録患者数
全国	20,495人	16.1	49,814
島根県	110人	15.7	278

※罹患率=新登録患者の人口10万人あたりの率。

※登録患者数=年末現在において登録されている者の数。

※新登録患者数及び登録患者数には感染者は含まれません。

(2) 集団感染事例

①全国 (平成26年3月31日現在<平成25年までの状況>)

発生年	発生件数
平成25年	29件
平成24年	51件
平成23年	68件
平成22年	39件
平成21年	30件
平成20年	48件

②島根県の状況 (今回の事例を除く。)

発生年月	発病、感染者数 (実人数) ※初発患者を除く
平成26年 6月	18人
平成23年11月	68人
平成23年10月	12人
平成22年11月	11人
平成22年11月	19人
平成20年11月	15人
平成20年 5月	14人
平成10年 4月	25人
平成 5年 6月	10人